

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金	開始 年 度	平成8年度
団 体 名	海の日を祝う会	団体等 の状況	<input type="checkbox"/> 課税事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	国民の祝日「海の日」を祝い、「海の日」記念式典を実施して、海事功労者への表彰を行うとともに、「海の日」の広報活動として、函館マリンフェスティバルを実施している。
目 的	(目 的) 国民が海の恩恵に感謝し、海洋国家日本の繁栄を願う「海の日」の祝日制定の趣旨を踏まえ、海事行事を遂行し、海事思想の普及・向上を図るとともに、地域の発展に寄与する。
・ 効果	(効 果) 高い政策効果が期待できるとともに、港湾関連団体との連絡・協力が図られ、市の行政を推進する上で非常に有効である。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計	
		市	その他						
収 入	R3 (決算)	0 []	0 []	0 []	605 []	261 []	1 []	867 []	
	R4 (決算)	100 [100]	0 []	0 []	674 [452]	172 []	5 []	951 [552]	
	R5 (決算)	100 [100]	0 []	0 []	850 [660]	142 []	17 []	1,109 [760]	
	R6 (決算)	100 [100]	0 []	0 []	820 [702]	39 []	107 []	1,066 [802]	
	R7 (予算)	100 [100]	0 []	0 []	820 [553]	5 []	100 []	1,025 [653]	
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費	補助金返還 金	計
		R3 (決算)	0 []	55 []	640 []	0 []	0 []		695 []
R4 (決算)		0 []	46 [44]	763 [508]	0 []	0 []		809 [552]	
R5 (決算)		0 []	35 [35]	935 [725]	0 []	0 []	100 []	1,070 [760]	
R6 (決算)		0 []	134 [134]	927 [668]	0 []	0 []		1,061 [802]	
R7 (予算)		0 []	70 [68]	950 [580]	0 []	5 [5]		1,025 [653]	

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金
----------------	------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献 する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「海の日」は、長年に及ぶ海事関係団体をはじめとした各層の働きかけにより制定された国民の祝日であり、当会は、祝日制定の趣旨を踏まえ事業を行うことを目的としているため、公益性があり、広く市民に対し、海への関心を高めている。また、公益性が高いことから、市が事務局となっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「海の日」の記念式典において海事功労者を表彰しているほか、函館マリンフェスティバルの実施など、公益性、必要性が高い。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の見直しを図るとともに、経費の節減に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	明確な公益性があり、また、市長が顧問として参画していることから、補助によることが最適であると考ええる。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	既に事業費の節減を行っているが、他の収入(会費等)に変動がないことから、必要最低限となっている。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定められていないが、事業執行上、必要最低限の額を補助している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の縮小により一時的に繰越が生じ、令和4年度については返還となったが、令和6年度において解消予定。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	収入は、主に会費と市からの補助金であるが、会員の減少に伴い減収となっている。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

- ・「海の日」記念式典で行われる海事功労者表彰は、会員企業からの推薦により、会で定める基準に従い会長表彰選考委員会で決定しているが、特に表彰者数の定めはない。
- ・「海の日」の広報活動として、函館マリライフフェスティバルを実施している。

(達成状況)

- ・「海の日」記念式典で行われる海事功労者表彰は、毎年数十名が表彰されており、令和4年度の表彰者は10名、令和5年度の表彰者は10名、令和6年度の表彰者は11名であった。
- ・函館マリライフフェスティバルが再開され、国や道、民間の団体など9団体が13の事業を実施しており、延べ8,458名の参加があった。

※新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、令和2,3,4年度は主要イベントが実施できていない(歳出減に伴い、補助金申請は見合わせており、令和2,3年度は補助金を交付しておらず、令和4年度は補助金を返還した。)



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	事業の継続実施により、国民の祝日である「海の日」の趣旨が浸透している。

## ○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 適宜、事業内容を見直し、適切な事業の実施に努めているところではあるが、今後も事業内容や積算内訳について、経費が適正であるかなどの観点から精査し、適正な補助額を算出する。
	(見直しの時期)
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 9 年度		令和 9 年度